

事業番号	事務事業名	愛育委員活動費	所管課名	保健福祉課	令和 3 年度課長名	安道 智秋
02110	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	健康係	担当者・シート作成者
	施策名	12	健康づくりの推進	根拠法令等	鏡野町愛育委員会規則	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	R3年度は任期の2年目。コロナの感染状況から予定していた総会や地区委員会は中止としたが、全体研修会は感染症対策を行いながら4回に分けてメンタルヘルスをテーマに実施した。結核予防普及啓発街頭キャンペーンは愛育委員幹事の「今までしてきたことをしよう」の声があり実施に至った。地域での活動も集いの場などでの活動はできなかったが、熱中症予防や健康づくりに関するチラシの配布、地域での見守りや声かけなど、できる個人の活動を実施した。	母子保健活動は明治時代に始まった。昭和25年に岡山県内で初の組織が誕生。現在は母子保健活動を含めた住民の健康づくりの活動へと変わっている。「自分の健康は自分でつくる」「誰もが安心して暮らせる地域づくり」等の推進を行っている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 愛育委員受け持ち地区民	ア 人口	人	見込 実績	12,285 12,754	12,143 12,625	11,970 12,497	11,800	11,627
イ 委員	イ 委員数	人	見込 実績	158 157	158 154	154 154	154	154
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 健康に関する意識が高まり、健康で明るい生活を送ることができる	ア 研修会等の参加率	%	目標 実績 達成率	80 66 82.5%	80 0 0.0%	80 75 94.0%	80	80
イ 地域に暮らす人を意識し、行政とのパイプ役となる	イ 訪問、声かけの件数(愛育委員活動記録)	件	目標 実績 達成率	5,000 1,921 38.4%	5,000 10,754 215.1%	5,000 4,207 84.1%	5,000	5,000
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 研修会、禁煙・結核予防活動への協力	ア 研修会、地域での集いの回数	回	目標 実績 達成率	15 36 240.0%	15 30 200.0%	15 5 33.3%	15	15
イ 地区健康教室、地域での声かけ、訪問	イ 地区委員会開催回数(地区委員会開催なしだが、地区での健康教室、つどい、地区行事は513回)	回	目標 実績 達成率	33 30 90.9%	33 25 75.8%	33 0 0.0%	33	33
ウ	ウ 会議(理事会および幹事会)開催数	回	目標 実績 達成率	9 10 111.1%	9 7 77.8%	9 8 88.9%	9	9

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 01		大事業 中事業 02 01					事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		保健衛生総務費		愛育委員活動費					02110
予算(千円)	1 年度実績	2 年度実績	3 年度実績	4 年度見込	5 年度見込	前年比	決算(千円)	1 年度実績	2 年度実績	3 年度実績	4 年度見込	5 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財	18	19				-19	その他特財							
一般財源	539	416	412	466	466	-4	一般財源	433	289	250	466	466	-39	
合計	557	435	412	466	466	-23	合計(A)	433	289	250	466	466	-39	
財源名称	従事正職員人数						2	2	2	2	2	2		
	延べ業務事務時間						115	115	115	115	115	115		
	人件費計(千円)(B)						403	384	385	393	393	393	1	
	トータルコスト(A+B)						836	673	635	859	859	859	-38	
主な支出事業内容(予算)	消耗品				39 千円		主な支出事業内容(決算)	消耗品				13 千円		
	食糧費				34 千円			食糧費				12 千円		
	通信運搬費				103 千円			通信運搬費				103 千円		
	保険料				56 千円			保険料				55 千円		
	負担金				68 千円			負担金				67 千円		

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 高齢化に伴い委員の選出ができない地区がでてきている。またアパートや新築が増え、地域によっては地域づきあいの希薄化により地域の様子がわかりにくくなっている現状もある。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯 委員研修を開催し、自身の健康づくりや地域での自主活動に活かせるような取り組みを行っている。研修会などの機会をとらえてアンケートをとり、委員からの意見や要望を聞き、改善できるよう取り組んでいる。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか? ・委員のなり手がいない地域がある。コロナ禍で地域の活動が中止となるなかで委員の活動もより見えにくくなっており、愛育委員活動について町民に広く知ってもらうことが必要との意見がある。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 全ての年代の住民に対して、健康づくりを推進することは施策に結びついている。愛育委員が健康づくりを推進するためにも、町の現状や課題を委員に示す必要がある。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せるとはできないか?)	
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 町民の健康づくりを勧めるうえで、地区住民でもある、より身近な愛育委員が健康づくりに関する活動や情報の発信を行うことは、行政だけではカバーできない部分を補うことができる。組織育成をおこなうことは必要なことである。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 全ての町民を対象としていることは適切である。委員が地域の人を対象に健康づくりへの活動を行っているという意識をもって活動できることが必要。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 地域づきあいの希薄化により地域の様子がわかりにくくなっている地域もある。またコロナ禍で町や地区の行事が中止になったり制限されたりしたため委員自身も活動がわからない、しづらい状況が続いていた。委員自身の意識の向上を図るためにも活動内容や方法の見直しや検討をする必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 地域力の強化が必要とされている。地域の中で目配り気配りをしている委員は大きな役割を担っている。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 幹事会や地区委員会などで委員と共に活動内容の確認を行い、必要に応じて相談、改善を図る必要がある。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 研修会などについては、内容や講師の選定等で予算を抑えることは可能である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 事務局担当職員で協力し、最小限の時間での対応に努力している。地区活動については、地区担当の保健師が主となり活動を行っている。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 区長推薦により委員の選出がなされており、公平・公正である。	

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	愛育委員という組織により、地域の委員が地域住民に対して健康づくりに関する意識啓発などの活動を行うこと、声かけや訪問を行うことは、行政だけではカバーできない、地域の委員だからできることである。 新型コロナウイルス感染症対策のため、地域で集まるなどの活動などは十分行えなかったが、声かけなどの個人活動は委員自身が意識して行った。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 R4年度は任期3年目の最後の年。感染症対策を取りながら、全体での研修会や、地区活動を伝える場を持つよう計画する。また、委員自身が意識して活動に取り組むためにも幹事会や地区委員会などの協議の場を大切に、町の現状や目標を委員に示す。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
愛育委員自身が不安なく活動に取り組めるよう、感染症対策を伝え、できる活動を一緒に考えていく。幹事会や地区委員会など、委員の意見を聞き協議できる場を持つようにする。																									